

JR西日本 大阪駅西口改札



西口改札

2023(令和5)年3月、JR大阪駅に新設された「西口改札」。改札内外のコンコースは、「水都大阪」になぞらえた「水路」や「水のイメージ」をモチーフとしたデザインとなっている。



西口改札内コンコース

待合空間の9本の柱にあしらわれた意匠は、水都大阪の川に架かる代表的な橋である難波橋・天神橋・水晶橋・戎橋の4本をモチーフにした模様で、大阪らしさ・日本らしさを表現すると共に華やかさを演出している。



トイレ入口

遠くからでもわかりやすいよう、大きなサインと色分けを壁面に掲示。また、点字ブロック上の二次元コードをアプリで読み取ることで、目的地までの移動ルートを音声でナビゲートするシステムが導入されている。



トイレ案内図

入口の壁面中央に、すべての利用者がトイレのレイアウトや設備を事前に把握できる、案内図を掲示。触知図とすることで、視覚障がい者にも、わかりやすく情報を伝える工夫がなされている。



男性トイレ 入口

青色のガラス製モザイクタイルが空間にアクセントをもたらし、明るく鮮やかに空間を演出。各トイレの入口まわりに、カラーガラスモザイクタイルを配することで、サインを補填する誘導性向上も図られている。



男性トイレ 洗面コーナー

水じまいのよい壁掛ハイバック洗面器には、衛生面に配慮して、非接触で使用できる自動水栓を設置。空間は、石目調のメラミン材とボーダーのイブスタイルが、上質な雰囲気演出している。



男性トイレ スタylingコーナー

女性トイレだけでなく、男性トイレにも設けられたスタイリングコーナー。また、小便器コーナーと大便器コーナーが見通せる位置を先頭に並べることができるよう、足元にラインを表示。混雑時にもスムーズに利用できる。



男性トイレ 小便器コーナー

床の清掃性に優れた低リップタイプの壁掛型の自動洗浄小便器を採用。小便器上のライニングは、大きな荷物も置ける奥行340mmに設定。また、さまざまな利用者に配慮して、入口側にも1ヶ所に手すりを設けている。



男性トイレ 大便器ブース

すべての大便器ブースに、ウォッシュレット、L型手すり、ベビーチェアを設置。またブース入口には、内部の設備がひと目でわかるサインを掲示している。



女性トイレ 入口

女性トイレ入口まわりには、朱色のガラス製モザイクタイルが空間にアクセントをもたらし、明るく鮮やかに空間を演出している。



女性トイレ 洗面コーナー

6人が同時に使用できる洗面コーナー。手荷物配慮として洗面器機にフックを設け、さらに鏡下のライニングにも荷物が置ける幅が確保されている。



女性トイレ スタylingコーナー

荷物が置いて、かつ鏡に近づいて化粧直しができるよう、カウンターの奥行きを290mmに設定。さらに、カウンター下に、フックも用意されている。

JR西日本 大阪駅西口改札



女性トイレ
大便器コーナー

既存大阪駅の各トイレに共通している黒い壁と白い扉のパターンを踏襲。さらにフラッグ型サインは扉の開閉と連動して向きが変わり、ブースの空き状況がひと目でわかるようになっている。



移動間仕切

男女トイレの大便器コーナー奥の壁は、男女の使用状況に応じて、大便器ブース数が変更できる可動式の間仕切り壁を設置している。



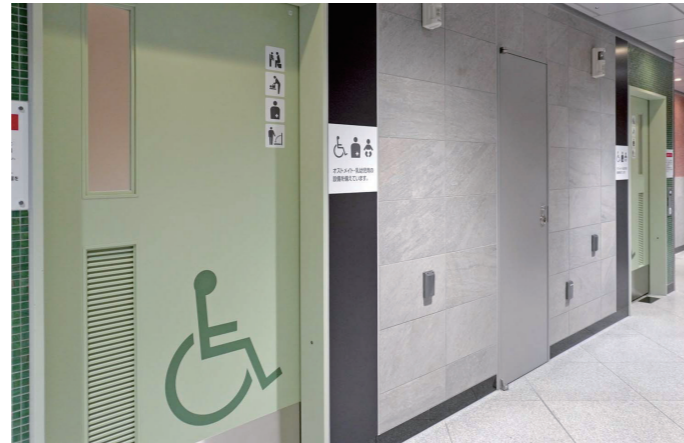
バリアフリートイレ

車いす使用者やおストメイト、お子様連れなど、さまざまな利用者に配慮し、コンパクトオストメイトパック、ベビーシート、ベビーチェア、フィッティングボードなどを完備している。



女性トイレ
ひろびろブース

男女トイレともに、手前側にひろびろブースを2ヶ所設置。入口には、ブース内の設備や配慮対象者がわかるようピクトサインを掲示。目を引くようにふくらみをもたせた立体的なサインとしている。



バリアフリートイレ 入口

バリアフリートイレ入口引戸には、利用者が直感的にわかりやすいよう、大きな車いすのサインを掲示。また、バリアフリートイレも、左右勝手違いで隣接して配置されている。



ベビーケアルーム・授乳室

トイレゾーンの入口に設けられた性別による制限がない一角に配置された、ベビーケアルームと授乳室。おむつ交換台や、施錠ができる授乳室を2ルームを完備している。



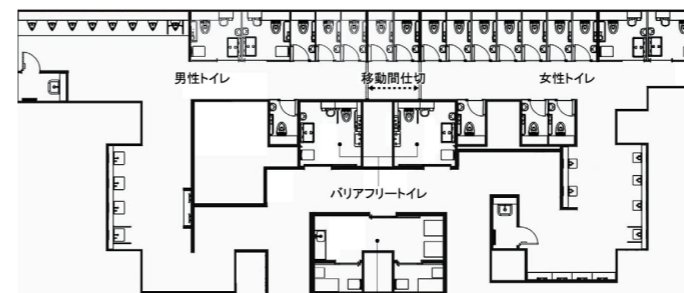
女性トイレ
ひろびろブース

ひろびろブースは、左右勝手違いで隣接して設置。オストメイトやお子様連れに配慮し、コンパクトオストメイトパック、ベビーシート、ベビーチェア、フィッティングボードを設置している。



バリアフリートイレ

バリアフリートイレには、必要な器具が完備されたコンパクト・バリアフリーイレパックを設置している。



トイレ図面

トイレゾーンの入口付近となる男女トイレ前および中央部の通路は、性別による制限がない空間として、バリアフリートイレとベビーケアルーム・授乳室を配置している。

水まわりの特長

建物の特徴

「JR西日本 大阪駅」は、1日約70万人(2022年度)が利用する西日本最大のターミナル駅。JR大阪駅周辺で進められている巨大な再開発に伴い、駅西側地区を中心に、新改札口整備・高架下開発・新駅ビル開発を計画。混雑緩和、新たなバリアフリールート整備およびアクセス性向上、さらに回遊性向上を図った周辺地域と一体的なまちづくりプロジェクトが進行している。今回新改札口となる「大阪駅西口」と「うめきた地下口」が新設され、駅の西側や北西側からのアクセスが向上された。大阪はその昔、水の都と呼ばれるほどに水運で発展し、現在も淀川をはじめとした多くの川や水路の風景や風情を特色とするため、西口の構内には水をテーマとした特徴的なデザインが数多く採用され、魅力的な空間を創出している。

トイレの特長

意匠性だけでなく、サインを補填する誘導性向上を図るため、男女トイレ、バリアフリートイレ、ベビーケアルームの各入口に、青、朱色、緑、薄ピンクのガラス製モザイクタイルをアクセントとして採用。男女トイレ内の空間意匠は、既存大阪駅各トイレの黒い壁と白い扉のパターンを踏襲しつつ、汚れの目立ちにくさや高級感の創出を図るため、石目調のメラミン材を選定した。さらに、鏡まわりや、男性トイレの小便器上部の壁面にイブシタイルを調和させているが、床材に明るいトーンの磁器タイルを採用することで、全体的に黒色ベースのトイレ空間でも暗い印象とならないよう工夫。新しい構内トイレは、すべての利用者が快適に利用できるよう、きめ細やかに整備された設備やレイアウトを実現している。

建築概要

名称	JR西日本 大阪駅西口改札
所在地	大阪府大阪市北区梅田三丁目
施主	西日本旅客鉄道株式会社
設計	ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社
施工	大鉄工業株式会社 株式会社大建工業所(施工協力/衛生設備) 小松ウオール工業株式会社(施工協力/移動間仕切)

竣工年月 2023年3月

おもなTOTO使用機器

- 壁掛大便器セット・フラッシュバルブ式:UAXC1CS1A
- ウォシュレットPS:TCF5504P特
- ウォシュレットアプリコットP(温風乾燥付きエコリモン):TCF5840AUPN
- 棚付二連紙巻器:YH700AD
- 自動洗浄小便器:US900R
- 壁掛ハイバック洗面器:LSA135EB、LSA125EB
- コンパクト・バリアフリーイレパック:UADAK11L1A1ADD1WA
- コンパクトオストメイトパック:UAS81LDB2NW、UAS81RDB2NW
- ベビーシート:YKA25S
- ベビーチェア:YKA15S
- フィッティングボード:YKA41R
- フック:YKH21WR、YKH20R